



三井住友ファイナンス&リース、シーアールイー<3458>をTOBで子会社化



三井住友ファイナンス&リース（SMFL）は傘下のSMFLみらいパートナーズ（東京都千代田区）を通じて、物流施設の賃貸管理・開発を手がけるシーアールイーをTOB（株式公開買い付け）で子会社化する。SMFLグループの一員となることでシーアールイーの信用力・資金調達力を高め、物流施設の開発事業を加速させるのが狙い。シーアールイーは売上高669億円、営業利益80億4000万円、純資産411億円（2024年7月期）。

TOB終了後、SMFLみらいは議決権比率を50.1%とし、残る49.9%分の株式は創業家の資産管理会社などが保有する。シーアールイーの創業者・山下修平会長、亀山忠秀社長は引き続き経営に関与するため、シーアールイーはMBO（経営陣による買収）の一環としている。

買付代金は最大217億1400万円。

買付価格は1株あたり1700円で、公表前営業日の終値1309円に対して29.87%のプレミアムとなる。山下会長の資産管理会社で、筆頭株主の京橋興産（東京都港区）が所有する1203万9200株(所有割合40.97%)はTOBに応募しない。

買付予定数は1277万3227株で、下限は所有割合10.13%にあたる297万7300株。買付期間は2025年1月29日から3月13日までの30営業日。決済の開始日は3月21日。公開買付代理人はSMBC日興証券。

シーアールイーは賛同の意見を表明し、株主にTOBへの応募を推奨している。TOBが成立すれば、シーアールイーの東証プライム市場への上場は廃止となる見通し。